

P21671.P04

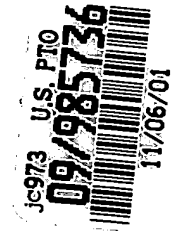
IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Toshiki KINDO et al.

Serial No. : Not Yet Assigned

Filed : Concurrently Herewith

For : E-COMMERCE SYSTEM AND METHOD



CLAIM OF PRIORITY

Commissioner of Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Sir:

Applicant hereby claims the right of priority granted pursuant to 35 U.S.C. 119 based upon Japanese Application No. 2000-340741, filed November 8, 2000. As required by 37 C.F.R. 1.55, a certified copy of the Japanese application is being submitted herewith.

Respectfully submitted,
Toshiki KINDO et al.

Leslie J. Papernier Reg. No. 33,329
Bruce H. Bernstein
Reg. No. 29,027

November 6, 2001
GREENBLUM & BERNSTEIN, P.L.C.
1941 Roland Clarke Place
Reston, VA 20191
(703) 716-1191

【書類名】 特許願

【整理番号】 2931020107

【提出日】 平成12年11月 8日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市多摩区東三田三丁目 1 0 番 1 号 松下技
研株式会社内

【氏名】 金道 敏樹

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市多摩区東三田三丁目 1 0 番 1 号 松下技
研株式会社内

【氏名】 吉田 秀行

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市多摩区東三田三丁目 1 0 番 1 号 松下技
研株式会社内

【氏名】 志田 武彦

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
会社内

【氏名】 高瀬 博士

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100105050

【弁理士】

【氏名又は名称】 鷲田 公一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 041243

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9700376

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子商取引システム及び電子商取引方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 販売者が入力した商品情報を購買者の検索条件に応じて配信する商品情報サーバと、前記商品情報サーバから配信された商品情報を、予め前記購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールに基いて並び換える情報フィルタ部と、並び替えられた商品情報から商品発注が行われると前記購買者の口座から代金の引落としと前記販売者に対する支払いを行う決済機構と、を具備する電子商取引システムであって、

他の購買者のパーソナルプロフィールを利用して商品発注を行うことを特徴とする電子商取引システム。

【請求項 2】 一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報を前記他の購買者用端末に送信し、この商品情報を前記他の購買者の嗜好に応じたパーソナルプロフィールに基いて並び換え、並び換えられた商品情報を受信した後に商品発注を行うことを特徴とする請求項 1 記載の電子商取引システム。

【請求項 3】 前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を問い合わせた後に前記商品情報を前記他の購買者に送信することを特徴とする請求項 2 記載の電子商取引システム。

【請求項 4】 前記一の購買者が前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を問い合わせる利用問合せ部を前記一の購買者用端末に配置し、前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用条件を登録し前記利用問合せ部から問合せを受けて前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を判断する管理部を本システムを管理するサーバに配置したことを特徴とする請求項 3 記載の電子商取引システム。

【請求項 5】 前記管理部は、前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用を許可した場合にその旨を前記決済機構に通知し、前記決済機構は、前記他の購買者のパーソナルプロフィールを利用する購買者の口座から利用料を引き落とす一方、パーソナルプロフィールを提供する前記他の購買者に利用料を支払うことを特徴とする請求項 4 記載の電子商取引システム。

【請求項 6】 前記他の購買者用端末から前記他の購買者のパーソナルプロフィールを受信する一方、一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報を、信した前記他の購買者のパーソナルプロフィールに基いて並び換えた後に商品発注を行うことを特徴とする請求項 1 記載の電子商取引システム。

【請求項 7】 前記他の購買者は、著名人であることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の電子商取引システム。

【請求項 8】 予め購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールを記憶する記憶部と、商品情報サーバから配信される商品情報を前記パーソナルプロフィールに基いて並び換える情報フィルタ部と、他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を問い合わせる利用問合せ部と、を具備し、

前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用が許可されると前記商品情報サーバから配信された商品情報を前記他の購買者に送信する一方、前記他の購買者のパーソナルプロフィールにより並び換えられた商品情報を受信し商品発注を行うことを特徴とする購買者用端末。

【請求項 9】 予め購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールを記憶する記憶部と、商品情報サーバから配信される商品情報を前記パーソナルプロフィールに基いて並び換える情報フィルタ部と、を具備し、

他の購買者用端末から前記記憶部に記憶されたパーソナルプロフィールの利用依頼を受けると、前記他の購買者用端末から送信される商品情報を前記パーソナルプロフィールにより並び換えて前記他の購買者端末に返信することを特徴とする購買者用端末。

【請求項 10】 購買者の検索条件に応じて配信される商品情報を、予め前記購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールに基いて並び換える一方、並び替えられた商品情報から商品発注が行われると前記購買者の口座から代金の引落としと前記販売者に対する支払いを行う電子商取引方法であって、

一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報を前記他の購買者用端末に送信し、この商品情報を前記他の購買者のパーソナルプロフィールに基いて並び換え、並び換えられた商品情報を受信した後に商品発注を行う電子商取引方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子又は電波、光を媒体とする情報通信網を利用した電子商取引システムに関し、特に著名人の嗜好に応じた商品を一般人が購入可能な電子商取引システム及び電子商取引方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、自分の興味を持った人の嗜好に応じた商品を自分も購入したいというニーズが市場に存在する。例えば、著名人が身に付けている商品を真似て自分も同じ商品を身に付けたいと考える場合が該当する。このようなニーズに対応するため、雑誌等では著名人が身に付けている商品を購入できる販売店を紹介する特集が組まれている。また、近年、インターネットなど情報技術並びに情報通信網に関する社会基盤の進展に伴い、情報通信網を利用した電子商取引においても同様の特集が組まれている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような方法で著名人が身に付けている商品を紹介する場合には、著名人のプライバシーが保護されないという事態が生じ得る。すなわち、著名人が身に付けている商品を購入できる販売店を紹介した場合には、その販売店に、その著名人のいわゆるファンが殺到してしまい、著名人のプライバシーが保護されないという事態が生じ得る。このため、著名人が紹介する商品が現実的に身に付けている商品と異なる場合も想定される。したがって、上述したような購買者のニーズに対応できていないという問題が生じていた。

【0004】

また、上述のような方法では、その雑誌等が発行された時点における、著名人の一時的な嗜好に応じた商品が紹介されることも想定される。したがって、雑誌等の発行後、時間の経過にしたがって著名人の嗜好が変化した場合には、著名人が紹介する商品が現在、身に付けている商品と異なる商品が紹介される場合も想

定される。この場合にも、上述したような購買者のニーズに対応できていないという問題が生じる。

【0005】

本発明は以上のような実情に鑑みてなされたものであり、著名人のプライバシーを保護しつつ、著名人の現実の嗜好に応じた商品を購入することができる電子商取引システム及び電子商取引方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明は、購買者の検索条件に応じて配信される商品情報を、予め購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロファイルに基いて並び換える一方、並び替えられた商品情報から商品発注が行われると購買者の口座から代金の引落としと販売者に対する支払いを行う電子商取引システムにおいて、他の購買者のパーソナルプロファイルを利用して商品発注を行う。

【0007】

これによれば、他の購買者のパーソナルプロファイルを利用することにより、一の購買者が指定した検索条件で検索された商品情報が他の購買者のパーソナルプロファイルにより並び換えられる。一の購買者は、この並び換えられた商品情報に基いて商品発注を行うことにより、他の購買者の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】

本発明の第1の態様に係る電子商取引システムは、販売者が入力した商品情報を購買者の検索条件に応じて配信する商品情報サーバと、前記商品情報サーバから配信された商品情報を、予め前記購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロファイルに基いて並び換える情報フィルタ部と、並び替えられた商品情報から商品発注が行われると前記購買者の口座から代金の引落としと前記販売者に対する支払いを行う決済機構と、を具備する電子商取引システムであって、他の購買者のパーソナルプロファイルを利用して商品発注を行う構成を採る。

【0009】

この構成によれば、他の購買者のパーソナルプロフィールを利用することにより、一の購買者が指定した検索条件で検索された商品情報が他の購買者のパーソナルプロフィールにより並び換えられる。これにより、一の購買者は、この並び換えられた商品情報に基づいて商品発注を行うことで、他の購買者の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【 0 0 1 0 】

本発明の第 2 の態様は、第 1 の態様に係る電子商取引システムにおいて、一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報を前記他の購買者用端末に送信し、この商品情報を前記他の購買者の嗜好に応じたパーソナルプロフィールに基づいて並び換え、並び換えられた商品情報を受信した後に商品発注を行う構成を採る。

【 0 0 1 1 】

この構成によれば、一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報は、他の購買者用端末において並び換えられた後に一の購買者用端末に返信される。このため、他の購買者のプライバシーを保護しつつ、他の購買者の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【 0 0 1 2 】

本発明の第 3 の態様は、第 2 の態様に係る電子商取引システムにおいて、前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を問い合わせた後に前記商品情報を前記他の購買者に送信する構成を採る。

【 0 0 1 3 】

この構成によれば、他の購買者用端末に商品情報を送信する前に他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を問い合わせるので、誤って商品情報を送信するのを防止することができ、通信費のコストを低減することができる。また、パーソナルプロフィールの利用が許可されない場合には、利用を希望する購買者にその旨を伝えるようにすることにより次の処理を促すこともできる。

【 0 0 1 4 】

本発明の第 4 の態様は、第 3 の態様に係る電子商取引システムにおいて、前記

一の購買者が前記他の購買者のパーソナルプロファイルの利用の許可／不許可を問い合わせる利用問合せ部を前記一の購買者用端末に配置し、前記他の購買者のパーソナルプロファイルの利用条件を登録し前記利用問合せ部から問合せを受けて前記他の購買者のパーソナルプロファイルの利用の許可／不許可を判断する管理部を本システムを管理するサーバに配置した構成を採る。

【 0 0 1 5 】

この構成によれば、利用問合せ部が購買者用端末に配置されているので、購買者が簡単に他の購買者のパーソナルプロファイルの利用を問い合わせることができる。一方、管理部が本システムのサーバに配置されていることにより、他の購買者が逐一自己のパーソナルプロファイルの利用の許可／不許可を判断する必要がない。なお、本システムのサーバには、他の購買者のパーソナルプロファイルの利用条件が登録されているので、簡単に利用の許可／不許可を判断することができる。

【 0 0 1 6 】

本発明の第5の態様は、第4の態様に係る電子商取引システムにおいて、前記管理部は、前記他の購買者のパーソナルプロファイルの利用を許可した場合にその旨を前記決済機構に通知し、前記決済機構は、前記他の購買者のパーソナルプロファイルを利用する購買者の口座から利用料を引き落とす一方、パーソナルプロファイルを提供する前記他の購買者に利用料を支払う構成を採る。

【 0 0 1 7 】

この構成によれば、他の購買者のパーソナルプロファイルの利用が許可された場合に自動的にパーソナルプロファイルを利用する購買者に利用料が請求され、パーソナルプロファイルを提供する購買者に利用料が支払われる。このため、パーソナルプロファイルの利用に伴う料金の受払いが容易に実現される。

【 0 0 1 8 】

本発明の第6の態様は、第1の態様に係る電子商取引システムにおいて、前記他の購買者用端末から前記他の購買者のパーソナルプロファイルを受信する一方、一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報を、信した前記他の購買者のパーソナルプロファイルに基いて並び換えた後に商品発注を行う構成

を採る。

【 0 0 1 9 】

この構成によれば、一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報が他の購買者のパーソナルプロフィールに基いて並び換えられる。一の購買者は、この並び換えられた商品情報に基いて商品発注を行うことで、他の購買者の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【 0 0 2 0 】

本発明の第 7 の態様は、第 1 から第 6 のいずれかの態様に係る電子商取引システムにおいて、前記他の購買者は、著名人である構成を採る。

【 0 0 2 1 】

このように他の購買者を著名人とすることにより、一の購買者としての一般人は、著名人の嗜好に応じた商品発注を行うことができる。

【 0 0 2 2 】

本発明の第 8 の態様に係る購買者用端末は、予め購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールを記憶する記憶部と、商品情報サーバから配信される商品情報を前記パーソナルプロフィールに基いて並び換える情報フィルタ部と、他の購買者のパーソナルプロフィールの利用の許可／不許可を問い合わせる利用問合せ部と、を具備し、前記他の購買者のパーソナルプロフィールの利用が許可されると前記商品情報サーバから配信された商品情報を前記他の購買者に送信する一方、前記他の購買者のパーソナルプロフィールにより並び換えられた商品情報を受信し商品発注を行うものである。

【 0 0 2 3 】

本発明の第 9 の態様に係る購買者用端末は、予め購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールを記憶する記憶部と、商品情報サーバから配信される商品情報を前記パーソナルプロフィールに基いて並び換える情報フィルタ部と、を具備し、他の購買者用端末から前記記憶部に記憶されたパーソナルプロフィールの利用依頼を受けると、前記他の購買者用端末から送信される商品情報を前記パーソナルプロフィールにより並び換えて前記他の購買者端末に返信するものである。

【 0 0 2 4 】

本発明の第 1 0 の態様に係る電子商取引方法は、購買者の検索条件に応じて配信される商品情報を、予め前記購買者の嗜好に応じて登録されたパーソナルプロフィールに基いて並び換える一方、並び替えられた商品情報から商品発注が行われると前記購買者の口座から代金の引落としと前記販売者に対する支払いを行う電子商取引方法であって、一の購買者が指定した検索条件に応じて配信された商品情報を前記他の購買者用端末に送信し、この商品情報を前記他の購買者のパーソナルプロフィールに基いて並び換え、並び換えられた商品情報を受信した後に商品発注を行うものである。

【 0 0 2 5 】

以下、本発明の電子商取引システムを適用した実施の形態について、図面を参照して具体的に説明する。

【 0 0 2 6 】

図 1 は、本発明の一実施の形態に係る電子商取引システム（以下、「E C システム」という）1 0 0 の構成を示すブロック図である。

【 0 0 2 7 】

図 1 に示すように、本 E C システム 1 0 0 は、商品情報を登録するための販売者端末 1 0 1、商品情報を配信する商品情報配信ユニット 1 0 2、商品情報の閲覧と商品発注を行うための購買者端末 1 0 3、1 0 5 及び商品の売買の決済を行う電子決済ユニット 1 0 4 から構成されている。

【 0 0 2 8 】

本 E C システム 1 0 0 においては、購買者端末 1 0 3 を利用する購買者がタレントや業界のオピニオンリーダー等、他の人に影響を与える特定の人（以下、「著名人」という）であることを想定し、一方、購買者端末 1 0 5 を利用する購買者が購買者端末 1 0 3 を利用する著名人の嗜好に応じた商品の購入を希望する一般人（以下、「一般人」という）であることを想定している。利用することが想定されている購買者の相違に応じて各購買者端末 1 0 3 及び 1 0 5 は、異なる構成要素を備える。すなわち、購買者端末 1 0 5 は、著名人の嗜好を問い合わせるための構成要素を備えている。

【0029】

なお、実際には、本ECシステム100は、図2に示すようにインターネット等のネットワーク201を介して販売者端末101と購買者端末103、105とが例えば、仲介業者が備える商品情報配信ユニット102及び電子決済ユニット104に接続されて構成される。なお、仲介業者は、商品情報配信ユニット102だけを備えるようにし、電子決済ユニット104は、外部の例えば金融機関に委託するようにしてもよい。

【0030】

本ECシステム100の詳細な構成について図3を用いて説明する。図3は、本実施の形態に係るECシステム100の詳細な構成を示すブロック図である。

【0031】

図3に示す本ECシステム100において、販売者端末101は、商品情報配信ユニット102に対して商品データIを入力する商品データ入力部301、商品情報配信ユニット102に対して商品メタデータMIを入力する商品メタデータ入力部302及び電子決済ユニット104から発注者の購買者IDと商品IDとを含む受注信号を受信する商品受注受信部303を備える。

【0032】

商品情報配信ユニット102は、販売者端末101から入力された商品データI及び商品メタデータMI（以下、「商品情報」という）を記憶する商品情報記憶部304、商品情報記憶部304に商品情報を登録する商品情報登録部305、購買者端末103からアクセスを受けて購買者端末103に所望の商品情報を配信する商品情報サーバ306及びパーソナルプロフィール管理部（以下、「PPF管理部」という）310を備える。

【0033】

PPF管理部310は、後述する一般人が用いる購買者端末105から送信される著名人のPPFの利用の許可／不許可を判断する。なお、PPF管理部310には、予め著名人のPPFに利用条件が登録され、この利用条件を検討することにより、PPFの利用の許可／不許可を判断する。PPFの利用を許可する場合には、購買者端末105から送信されてくる商品情報を購買者端末103の情

報フィルタ部 3 0 8 に渡す。一方、P P F の利用を許可しない場合には、その旨を示す信号を購買者端末 1 0 5 に返信する。

【 0 0 3 4 】

購買者端末 1 0 3 は、商品情報サーバ 3 0 6 にアクセスし商品情報を検索する一方、検索結果に基づいて商品発注信号を電子決済ユニット 1 0 4 に送信する商品情報クライアント 3 0 7 を備える。また、購買者端末 1 0 3 は、情報フィルタ部 3 0 8 及びパーソナルプロフィール記憶部（以下、「P P F 記憶部」という）3 0 9 を備える。

【 0 0 3 5 】

情報フィルタ部 3 0 8 は、商品情報サーバ 3 0 6 から配信された商品情報と購買者の入力とから、購買者の嗜好を反映したパーソナルプロフィール（以下、「P P F」という）を作成する。この情報フィルタ部 3 0 1 で作成された P P F は、P P F 記憶部 3 0 9 に記憶される。

【 0 0 3 6 】

ここで図 4 を用いて情報フィルタ部 3 0 8 と P P F 記憶部 3 0 9 との関係について説明する。図 4 は、情報フィルタ部 3 0 8 と P P F 記憶部 3 0 9 との関係について詳細な構成を示すブロック図である。

【 0 0 3 7 】

情報フィルタ部 3 0 8 は、商品情報のフィルタリング処理と商品情報の学習処理という 2 つの処理において P P F 記憶部 3 0 9 と関係する。フィルタリング処理とは、商品情報サーバ 3 0 6 から配信された商品情報を購買者（著名人）の嗜好を反映した P P F に応じて並び替える処理をいう。学習処理とは、上記フィルタリング処理を行う際に用いる P P F を学習する処理をいう。なお、学習処理は、商品情報に対する発注時等においても行われる。

【 0 0 3 8 】

まず情報フィルタ部 3 0 8 の商品情報のフィルタリング処理について説明する。

【 0 0 3 9 】

購買者が商品情報を検索するために商品情報サーバ 3 0 6 にアクセスし商品情

報の配信を受けると、図4において、情報データ入力端子400に評価対象となる、商品データI及び商品メタデータMIとから構成される商品情報が入力される。また、キーワード数信号入力端子401に商品情報に含まれたキーワードの個数を表わすキーワード数信号n o f k sが入力される。さらに、キーワード信号入力端子402に複数のキーワードからなるキーワード群信号K sが入力される。キーワード群信号K sは、商品情報に含まれるキーワードで構成される。

【0040】

ベクトル生成部403によってキーワード群信号K sは、文字列の集まりからベクトル信号Vへと変換される。文字列の集まりをベクトル信号Vへ変換するのに符号辞書記憶部404に記憶されている符号辞書信号の文字列が利用される。符号辞書記憶部404には多種多様な商品のキーワードの文字列が符号辞書信号の形で記憶されている。キーワード群信号K sの中からj番目の符号辞書信号の文字列と同じ文字列が検出されれば、ベクトル信号Vのj番目のベクトル成分に1が入力され、j番目の符号辞書信号の文字列と同じ文字列が検出されなければ、ベクトル信号Vのj番目のベクトル成分に0が入力される。ベクトル信号Vの全ての成分について同様の処理を繰り返す。

【0041】

具体的に「服飾」についてのキーワードについて説明すると、符号辞書記憶部404には販売者IDや商品IDに加えて、「シャツ」「長袖」「半袖」「パンツ」「ジーンズ」「チノパン」「スカート」「ロング」「ミニ」「5000円～10000円」「10000円～15000円」等の文字列が記憶されている。図5は、これらのキーワードの文字列を記憶した符号辞書記憶部404のデータの一例を示す図である。

【0042】

肯定信号計算部405は、肯定メトリック信号を使用してキーワード群信号K sに過去に本購買者が興味「有」と回答したキーワードが数多く含まれている場合に大きな値となる肯定信号S Yを計算する。否定信号計算部406は、否定メトリック信号を使用してキーワード群信号K sに過去に本購買者が趣味に合わないことを意味する興味「無」と回答したキーワードが数多く含まれている場合に

大きな値となる否定信号 SN を計算する。

【 0 0 4 3 】

肯定メトリック記憶部 4 0 7 に記憶された肯定メトリック信号はキーワード群信号 Ks と購買者の興味「有」の応答結果に基づいて決められる。否定メトリック記憶部 4 0 8 に記憶された否定メトリック信号はキーワード群信号 Ks と購買者の興味「無」の応答結果に基づいて決められる。肯定メトリック信号及び否定メトリック信号には各キーワードに対応させて購買者の興味の有無に応じた値（以下、「スコア」という）が付与されている。上述の具体例で言えば、「シャツ」というキーワードが付いている商品情報に対して過去に興味「有」と応答した場合には、興味「有」とした回数に対応したスコアが「シャツ」に付与される。最も単純な例で言えば、4 回興味「有」とした場合には「4」というスコアが付与される。これとは逆に、過去に興味「無」と応答した場合には、興味「無」とした回数に対応したスコアが「シャツ」に付与される。

【 0 0 4 4 】

図 6 は、図 5 での具体例に付与されたスコアの一例を示す図である。肯定信号 SY 及び否定信号 SN は、各キーワードに対応して付与されたスコアを計算することで得られる。

【 0 0 4 5 】

必要性計算部 4 0 9 は、肯定信号 SY 及び否定信号 SN を使用して過去に興味「有」と回答した商品情報に付いていたキーワードが多数あり、趣味に合わないことを示す興味「無」であった商品情報に付いていたキーワードが殆どない場合に大きな値となる必要性信号 N を、 $N = SY - C \cdot SN$ と計算し、信頼性信号 R を、 $R = C \cdot SY + SN$ と計算する。係数 C は購買者が興味「有」とする商品情報と興味「無」とする商品情報とを分離するための係数であり、判定パラメータ記憶部 4 1 0 から与えられる。

【 0 0 4 6 】

上述の符号辞書記憶部 4 0 4、肯定メトリック記憶部 4 0 7、否定メトリック記憶部 4 0 8 及び判定パラメータ記憶部 4 1 0 で PPF 記憶部 3 0 9 が構成される。なお、符号辞書記憶部 4 0 4、肯定メトリック記憶部 4 0 7、否定メトリッ

ク記憶部 4 0 8 及び判定パラメータ記憶部 4 1 0 に記憶される各種のデータは、後述する学習処理において記憶されるものであるが、ここでは既に適切なデータを学習し記憶しているものとして説明している。

【 0 0 4 7 】

商品情報書込み制御部 4 1 1 は、評価した商品情報を順位付けして商品情報記憶部 4 1 2 に書き込む。商品情報記憶部 4 1 2 には、必要性信号 N の値が大きい順に商品情報が並べられて記憶される。

【 0 0 4 8 】

図 7 は、ある人の「服飾」の嗜好を学習して商品情報記憶部 4 1 2 に順位付けされた商品情報の一例を示す図である。図 7 では図 5 及び図 6 に示した以下のキーワードを含む商品情報を利用し、係数 C が「1」である場合について説明する。

商品情報①：AAA（販売者 ID）、A00（商品 ID）、シャツ、長袖

商品情報②：AAA（販売者 ID）、スカート、5000 円～10000 円

商品情報③：BBB（販売者 ID）、スカート、5000 円～10000 円

商品情報④：AAA（販売者 ID）、A00（商品 ID）、シャツ、半袖

商品情報⑤：BBB（販売者 ID）、スカート、10000 円～15000 円

この場合、商品情報記憶部 4 1 2 には図 7 に示すような順位で商品情報が記憶される。すなわち、上述の必要性信号の計算式に当てはめると、それぞれ必要性信号 N は、商品情報④が「 $8 + 5 + 4 + 4$ 」(SY) - 「1」(C)・「 $1 + 3 + 1 + 0$ 」(SN) = 16 (N)、商品情報①が「 $8 + 5 + 4 + 0$ 」(SY) - 「1」(C)・「 $1 + 3 + 1 + 0$ 」(SN) = 12 (N)、商品情報②が「 $8 + 3 + 1$ 」(SY) - 「 $1 + 0 + 0$ 」(C)・「0」(SN) = 11 (N)、商品情報③が「 $1 + 3 + 1$ 」(SY) - 「1」(C)・「 $5 + 0 + 0$ 」(SN) = 0 (N)、商品情報⑤が「 $1 + 3 + 0$ 」(SY) - 「1」(C)・「 $5 + 0 + 0$ 」(SN) = -1 (N) と計算される。このため、商品情報①～⑤は、図 7 に示すように順位付けされて記憶される。

【 0 0 4 9 】

商品情報出力制御部 4 1 4 は、商品情報記憶部 4 1 2 に順位付けされて記憶さ

れた商品情報を使用して所定の学習兼発注画面を作成し、商品情報出力端子 4 1 5 を介して商品情報クライアント 3 0 7 に転送する。なお、学習兼発注画面については後述する学習処理において説明する。

【 0 0 5 0 】

このようにして商品情報サーバ 3 0 6 から商品情報の配信を受けた場合に、購買者は特別な処理を行うことなく商品情報クライアント 3 0 7 のディスプレイ等で過去に購買者自身が入力した興味の有無に応じて順位付けられた商品情報を見ることができる。そして、購買者は、自己の嗜好により順位付けられた商品情報に基いて商品の発注を行うことができる。

【 0 0 5 1 】

次に情報フィルタ部 3 0 8 の学習処理について説明する。この情報フィルタ部 3 0 8 の好ましいものは、本出願人による特開平 9 - 2 8 8 6 8 3 号公報に開示されている情報フィルタ装置である。ここでは、説明を簡略化するために構成が最も単純な構成を用いて説明する。

【 0 0 5 2 】

商品情報クライアント 3 0 7 を通じて購買者から学習要求を受けると、情報フィルタ部 3 0 8 はその学習要求に含まれる検索条件等に当たって商品情報サーバ 3 0 6 にアクセスし、商品情報の配信を要求する。この配信要求を受けて商品情報サーバ 3 0 6 から配信される商品情報を情報フィルタ部 3 0 8 が受信する。

【 0 0 5 3 】

学習処理は、このように商品情報サーバ 3 0 6 から配信された商品情報に対して購買者から興味の有無を入力してもらい、その商品情報に含まれるキーワードを分析することで購買者の嗜好を示す P P F を学習する処理である。学習処理を行うことで肯定メトリック記憶部 4 0 7 及び否定メトリック記憶部 4 0 8 に P P F が記憶される。

【 0 0 5 4 】

既に学習処理が行われている場合には配信された商品情報に対して、記憶されている P P F に当たって上述のフィルタリング処理と同様に商品情報に順位付けし、図 8 に示すような学習兼発注画面 8 0 0 を作成する。この学習兼発注画面

800からの購買者の学習指示を待つてさらにPPFを更新する。また、学習兼発注画面800から入力された発注指示についてもPPFの学習処理の対象となる。

【0055】

学習処理を行っていない段階では肯定メトリック記憶部407及び否定メトリック記憶部408にPPFが記憶されておらず、上述の処理を行うことができない。このため、これらの商品情報が順位付けされることなく商品情報記憶部412に書き込まれる。商品情報出力制御部414は、商品情報記憶部412に書き込まれた複数の商品情報を使用して図8に示す学習兼発注画面800を作成する。この学習兼発注画面800は、商品情報出力端子415を通じて、商品情報クライアント307に転送される。

【0056】

図8に示すように、学習兼発注画面800は、複数の商品情報801と各商品情報に対する購買者の興味の有無を入力するボタン（◎ボタンと×ボタン）802と、学習ボタン803とから構成されている。なお、各商品の発注を行う際には各商品情報を選択することで発注が行われる。この学習兼発注画面800が商品情報クライアント307のディスプレイ等に表示されると、購買者はこの商品情報801の内容について検討し興味の有無を入力する。そして、興味の有無を入力し終わった後に学習ボタン803を選択することで情報フィルタ部308に対して学習指示を送信する。

【0057】

学習指示には各商品情報に対する教師信号Tが含まれる。教師信号Tとは、各商品情報に対する購買者の興味の有無を表す信号である。この学習指示を学習データ入力端子416を通じて受信すると、情報フィルタ部308は、学習指示と一緒に送られてきた教師信号Tを取り込む。教師信号Tは、商品情報出力制御部414を経由して教師データ記憶部417へ格納される。教師データ記憶部417において、各教師信号Tは、各商品情報に付いていたキーワード群信号Ks及びキーワード数信号nofksと一緒に格納される。

【0058】

教師データ記憶部417に教師信号T等の記憶が完了すると、学習開始信号入力端子418に学習開始信号が入力される。学習開始信号が入力されると、学習制御部419はメトリック学習部420と学習ベクトル生成部421とを接続するために、スイッチ422、423、424を閉じる。

【0059】

メトリック学習部420は、教師データ記憶部417から教師信号T、キーワード群信号Ks及びキーワード数信号nofksを取り込み、キーワード群信号Ks及びキーワード数信号nofksを学習用ベクトル生成部421へ入力する。学習用ベクトル生成部421は、符号辞書信号を使用して上述のベクトル生成部403と同様にキーワード群信号Ksを学習用ベクトル信号LVに変換する。学習用ベクトル信号LVは、メトリック学習部420に入力される。メトリック学習部420は、興味「有」の教師信号Tに対応する学習用ベクトル信号LVに基づいて肯定メトリック記憶部407の肯定メトリック信号を修正し、興味「無」の教師信号Tに対応する学習用ベクトル信号LVに基づいて否定メトリック記憶部408の否定メトリック信号を修正する。

【0060】

これにより、肯定メトリック信号は購買者が興味「有」とした商品情報に付いていたキーワードに対して大きな値を持つようになる。同様に、否定メトリック信号は購買者が興味「無」とした商品情報に付いていたキーワードに対して大きな値を持つようになる。

【0061】

学習スコア計算部425は、肯定信号計算部405、否定信号計算部406と同様に動作して学習用ベクトル信号LVから学習用肯定信号LSYと学習用否定信号LSNを計算する。判定面学習部426は、学習用肯定信号LSYと学習用否定信号LSNとを使用して、肯定信号SYと否定信号SNを用いて二次元空間上に表現された購買者が興味「有」とする商品情報と興味「無」とする商品情報とをもっともよく分離する係数Cを求める。係数Cは、判定パラメータ記憶部410に格納される。学習制御部419は、学習が終了すると学習終了信号出力端子427から学習終了信号を出力する。

【0062】

商品情報書込み制御部411は、学習終了信号が出力されたことを確認すると、商品情報記憶部412に記憶されている各商品情報、各商品情報に付けられているキーワード群信号Ks及びキーワード数信号nofksを再び各入力端子400、401、402へ入力する。この結果、各商品情報は、商品情報につけられているキーワードに基づいて購買者の興味（嗜好・感性）を正確に反映した必要性信号が計算され、必要性信号の値が大きい順に順位付けされて商品情報記憶部412に再格納される。商品情報出力制御部414は、商品情報記憶部412から商品情報を取り出して、必要性信号の大きい順に並べ替えられた商品情報の学習兼発注画面を作成する。これを商品情報クライアント307へ転送して再度表示させる。

【0063】

購買者は、並び替えられた商品情報を見て必要に応じて自分の嗜好を再度入力し、自分の嗜好にあった商品情報を検索する。商品情報が配信された場合にこの処理を行うことにより、購買者は自分の嗜好にあってるか否かの入力を行うだけで、自分の嗜好にあったPPFを得ることができる。言い換えると、購買者である著名人の嗜好にあったPPFがPPF記憶部309に記憶される。

【0064】

このような購買者の嗜好に応じたPPFを用いて商品情報の情報フィルタリングを行うことで、悪質な販売者が配信する商品情報の評価を自動的に下げることができる。例えば、悪質な販売者は自己の商品の検索ヒット率を上げるためにその商品と直接関係ない商品情報を入力する場合が想定される。しかし、このような商品情報に対して購買者が興味「無」と入力することで、その販売者を示す販売者IDが含まれる商品情報は、PPFにおいて否定のスコアが付与される。これにより、このような販売者が配信した商品情報に対する評価を自動的に下げることができる。言い換えると、配信される商品情報を購買者が監視するようなECシステムが提供され、良質な商品情報を配信する販売者の評価を自動的に上げることができる。

【0065】

なお、この P P F は、上述のように商品情報サーバ 3 0 6 から配信された商品情報と、購買者の嗜好を反映した教師信号 T とを用いてを作成するのが好ましい。しかし、これに限定する必要はなく、購買者の嗜好を反映していれば、例えば、インターネットブラウザ上に表示されたメニューにしたがって入力された購買者の嗜好のみを用いて作成された物であってもよい。

【 0 0 6 6 】

また、本実施の形態では、購買者端末 1 0 3 が P P F 記憶部 3 0 9 を備え、P P F を把握する場合について説明している。しかし、これに限定されず、商品情報配信ユニット 1 0 2 が P P F 記憶部 3 0 9 に相当する記憶手段を備え、購買者端末 1 0 3 を操作する購買者の P P F を把握するようにしてもよい。しかし、購買者の嗜好を示す P P F の特徴を考慮するとプライバシー保護の観点から P P F は購買者端末 1 0 3 側に備えられた方がより好ましい。

【 0 0 6 7 】

また、情報フィルタ部 3 0 8 は、上述のように商品情報配信ユニット 1 0 2 の P P F 管理部 3 1 0 において、一般人からの P P F の利用が許可され P P F 管理部 3 1 0 から商品情報が渡された場合も、同様に、P P F 記憶部 3 0 9 に記憶された P P F に基づいて受信した商品情報に順位付けする。その後、その順位付けした商品情報を P P F 管理部 3 1 0 に返信する。P P F 管理部 3 1 0 は、この順

購買者端末 1 0 5 は、購買者端末 1 0 3 と同様の機能を有する商品情報クライアント 3 1 4、情報フィルタ部 3 1 5 及び P P F 記憶部 3 1 6 を備える。したがって、購買者端末 1 0 5 を利用する一般人も商品情報サーバ 3 0 6 から配信された商品情報を自分の嗜好に応じた P P F に基いて順位付けして、その順位付けされた商品情報から商品発注を行うことができる。

【 0 0 6 8 】

また、購買者端末 1 0 5 は、商品情報配信ユニット 1 0 2 の P P F 管理部 3 1 0 に著名人の P P F の利用の可否を問い合わせるパーソナルプロフィール利用問合せ部（以下、「P P F 利用問合せ部」という）3 1 7 を備える。P P F 利用問合せ部 3 1 7 は、P P F の利用の可否を問い合わせる際、利用条件を送信する。なお、ここで利用条件とは、例えば、一般人がその著名人のファンクラブに所属し

ている場合や既に利用するための会員登録を済ませている場合等が該当する。

【0069】

著名人のPPFの利用が許可された場合、PPF利用問合せ部317は、一般人が指定した検索条件に応じて商品情報サーバ306から配信された商品情報を商品情報配信ユニット102のPPF管理部310に送信する。同時に、PPF利用問合せ部317は、自己を示す購買者ID及びPPFの利用を許可してくれた著名人を示す購買者IDを含む信号（以下、「PPF利用信号」という）をPPF管理部310に送信する。このPPF利用信号は、PPF管理部310を介して後述する電子決済ユニット104のEC決済部に渡される。一方、PPF利用問合せ部317による著名人の利用が拒否された場合、その旨、もしくは利用許諾申請フォームがディスプレイに表示される。

【0070】

電子決済ユニット104は、商品情報クライアント307（314）から商品発注信号を商品発注部311を介して受信するEC決済部312を備える。EC決済部312は、商品発注信号に応じて発注者の支払能力を金融機関又は信販会社313に問い合わせ、発注者に支払能力がある場合に受注信号を商品受注受信部303に送信する一方、その発注者の口座から商品の代金を引き落とす。PPF利用問合せ部317からPPF利用信号を受信した場合、EC決済部312は、著名人のPPFを利用する一般人の口座からPPF利用料を引き落とす。一方、PPFの利用を許可した著名人の口座にPPF利用料を振り込む。

【0071】

なお、本ECシステム100は、購買者端末103を著名人に利用してもらうことを前提にしている。また、その著名人の利用にしたがって登録されるPPFに応じた商品を一般人が購入することで販売促進を図ることにより成立する。したがって、著名人に本ECシステム100の趣旨を著名人に説明して協力を要請することは当然に必要であるとして、さらに商品情報配信ユニット102等を管理する仲介業者は、購買者端末103を無料で貸し出し、あるいは、購買者端末103を利用してもらう利用料を著名人に対して支払い、購買者端末103の利用を促進することが望まれる。購買者端末103の利用料を著名人に支払う場合

には、その利用に応じた金額を支払うことが望ましい。この場合には、上述の E C 決済部 3 1 2 は、著名人が利用する購買者端末 1 0 3 から商品発注信号を受信した場合、その商品の代金を引き落とすのではなく、購買者端末 1 0 3 の利用料を振り込むようにすることが考えられる。

【 0 0 7 2 】

また、購買者端末 1 0 3 の利用の促進という観点からするならば、本 E C システム 1 0 0 を利用する販売者の了解を得て一定金額（例えば、1 ヶ月当たり、5 0 0, 0 0 0 円）分だけ自由に購入してよいという方式を採用しても有効である。

【 0 0 7 3 】

このように著名人に利用してもらうことで、著名人に商品が購入された販売者の商品情報に付与されたキーワードが著名人の P P F に登録される。この著名人の嗜好に応じた商品を購入したいと考える一般人がいれば、その販売者の商品が購入される可能性が大きくなる。したがって、この著名人の P P F を利用して商品を購入する一般人への宣伝費用と考えれば、著名人の嗜好を反映した P P F を利用して自社の商品を宣伝することとなるので、販売者としても十分なメリットを手にすることができる。

【 0 0 7 4 】

次に、上記構成を有する E C システム 1 0 0 において、購買者端末 1 0 5 の購買者である一般人が購買者端末 1 0 3 の購買者である著名人の P P F を利用して商品発注を行う場合の動作について説明する。なお、ここでは購買者端末 1 0 3 の P P F 記憶部 3 0 9 には、既に著名人の嗜好を反映した P P F が記憶されているものとする。

【 0 0 7 5 】

著名人の P P F の利用を希望する一般人は、まず、情報フィルタ部 3 1 5 に対して P P F 記憶部 3 1 6 に記憶された自分の P P F を利用するのか、著名人の P P F を利用するのかを商品情報クライアント 3 1 4 を通じて指示する。ここでは、著名人の P P F の利用が指示される。同時に、商品情報クライアント 3 1 4 を通じて自分の興味ある商品情報の検索条件を指定する。情報フィルタ部 3 1 5 は

、その検索条件にしたがって商品情報サーバ 3 0 6 にアクセスし、該当する商品情報の配信を受ける。

【 0 0 7 6 】

著名人の P P F の利用が指示されると、P P F 利用問合せ部 3 1 7 は、商品情報配信ユニット 1 0 2 の P P F 管理部 3 1 0 に P P F の利用の可否を問い合わせる。P P F 管理部 3 1 0 はこの問合せと共に送信されてくる一般人の利用条件を検討し、P P F の利用可否を判断する。ここでは、著名人の P P F の利用が許可されたものとする。P P F の利用が許可されると、情報フィルタ部 3 1 5 は、商品情報サーバ 3 0 6 から配信された商品情報を P P F 利用問合せ部 3 1 7 を介して P P F 管理部 3 1 0 に送信する。

【 0 0 7 7 】

P P F 管理部 3 1 0 は、購買者端末 1 0 5 からの商品情報を購買者端末 1 0 3 の情報フィルタ部 3 0 8 に渡す。情報フィルタ部 3 0 8 は、この商品情報に対して P P F 記憶部 3 0 9 に記憶された P P F を利用して上述のフィルタリング処理を行う。これにより、一般人の指定した検索条件で検索された商品情報が著名人の嗜好を反映した P P F にしたがって順位付けされる。情報フィルタ部 3 0 8 は、商品情報の順位付け（フィルタリング処理）が完了すると、この商品情報を P P F 管理部 3 1 0 に返信する。そして、この商品情報は P P F 利用問合せ部 3 1 7 に返信される。

【 0 0 7 8 】

P P F 利用問合せ部 3 1 7 は、このように著名人の嗜好に応じて順位付けされた商品情報を情報フィルタ部 3 1 5 に渡す。この順位付けられた商品情報を受け取ると、情報フィルタ部 3 1 5 は、この商品情報に何も処理を施さず商品情報クライアント 3 1 4 に渡す。これにより、一般人の指定した検索条件で検索された商品情報が著名人の嗜好に応じて順位付けされて購買者端末 1 0 5 のディスプレイ等に表示される。

【 0 0 7 9 】

ディスプレイ等に商品情報が表示されると、一般人は、通常の処理と同様に商品を選択し発注を行う。このとき、商品情報は著名人の嗜好に応じて順位付けら

れている。このため、一般人は、自分で指定した検索条件で検索された商品の中から、著名人の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【 0 0 8 0 】

なお、商品情報を著名人の嗜好に応じて順位付けする際、購買者端末 1 0 3 の情報フィルタ部 3 0 8 は、購買者端末 1 0 5 から商品情報を受信し、この受信した商品情報に対してフィルタリング処理を行う。そして、フィルタリング処理の結果（順位付けされた商品情報）のみを購買者端末 1 0 5 に送信するようにしている。このため、著名人の嗜好を反映した P P F が一般人に公開されるような事態は生じ得ない。したがって、著名人のプライバシーを確実に保護することができる。

【 0 0 8 1 】

なお、商品情報を著名人の嗜好に応じて順位付けする際、購買者端末 1 0 3 から著名人の P P F をダウンロードして購買者端末 1 0 5 の情報フィルタ部 3 1 5 でフィルタリング処理することも考えられる。この場合、P P F として渡されるデータは、商品情報に含まれるキーワードであるため、それだけで直ちに著名人のプライバシーの保護が確保されない訳ではない。しかし、著名人のプライバシーを確実に保護するためには、本実施の形態のフィルタリング処理が望ましい。

【 0 0 8 2 】

このように本 E C システム 1 0 0 によれば、著名人の嗜好を反映した P P F を利用することにより一般人が指定した検索条件で検索された商品情報が順位付けされる。また、商品情報の順位付けは、著名人が利用する購買者端末 1 0 3 で行われる。したがって、一般人は、この順位付けされた商品情報に基づいて商品発注を行うことにより、著名人のプライバシーが保護されつつ、一般人が著名人の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【 0 0 8 3 】

また、著名人は購買者端末 1 0 3 を通じて商品を選択するだけで、その著名人の嗜好を反映した P P F が登録される。したがって、雑誌等の取材等に対応する必要がなく短い時間でも著名人の嗜好を反映させることができる。このため、時間の経過に伴う著名人の嗜好の変化にも対応することができる。この結果、この

著名人の現在の嗜好が反映されるので、著名人の現在の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【 0 0 8 4 】

また、本 EC システム 1 0 0 では、購買者端末 1 0 3 を著名人が利用することが前提となっている。このため、著名人の利用により商品が発注された場合には、その商品の販売者は商品発注信号に含まれる購買者 ID 等からその旨を認識することができる。したがって、著名人の了解を得ることを前提として、販売者は、著名人が購入した事実に基いてその商品に付与される商品メタデータ MI を変更することができる。例えば、販売者は、「著名人 A もお気に入り」等の商品メタデータ MI を入力することができる。

【 0 0 8 5 】

本 EC システム 1 0 0 によれば、著名人の購買動向に応じて商品メタデータ MI を変更することができるので、購買者により有効な商品情報を提示することができる。また、購買者にとって有効な商品情報が提示されるため、販売者は商品の売上げ向上を期待できる。なお、著名人が「趣味に合わない」とした商品については、むしろ購買動向に悪影響を与える可能性があるので、興味だけを示し、趣味に合わないものを表示しないという構成をとることは望ましい。

【 0 0 8 6 】

また、著名人に購入された商品に付与された商品メタデータ MI を分析し、その分析結果を他の商品の商品メタデータ MI に反映させることもできる。この場合には、この著名人の P P F を利用する購買者がいた場合に、この分析結果を反映させた他の商品も上位に順位付けられることが想定される。このため、他の商品も購入される可能性が大きくなり、売上げの向上を期待することができる。

【 0 0 8 7 】

なお、本実施の形態では、一般人からの P P F の利用の許可／不許可を判断する P P F 管理部 3 1 0 が商品情報配信ユニット 1 0 2 に設けられた場合について説明している。しかし、これに限定されず、P P F 管理部 3 1 0 は、著名人が利用する購買者端末 1 0 3 に設けるようにしてもよい。このように変形した場合に

【 0 0 8 8 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、商品を購入するだけで嗜好に応じて登録され、かつ、プライバシーの保護に優れた P P F を著名人に登録してもらい、一般人がその P P F を利用できるようにしたので、著名人のプライバシーを保護しつつ、著名人の現実の嗜好に応じた商品を購入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施の形態に係る電子商取引システムの構成を示すブロック図

【図 2】

上記実施の形態に係る電子商取引システムがネットワークを介して接続された場合のブロック図

【図 3】

上記実施の形態に係る電子商取引システムの詳細な構成を示すブロック図

【図 4】

上記実施の形態に係る電子商取引システムの購買者端末における情報フィルタ部と P P F 記憶部との関係について詳細な構成を示すブロック図

【図 5】

上記実施の形態に係る電子商取引システムの情報フィルタ部における符号辞書記憶部のデータの一例を示す図

【図 6】

図 5 で示した一例に付与されたスコアの一例を示す図

【図 7】

上記実施の形態に係る電子商取引システムの情報フィルタ部における商品情報記憶部に順位付けされた商品情報の一例を示す図

【図 8】

上記実施の形態に係る電子商取引システムの情報フィルタ部における商品情報出力制御部により作成される学習兼発注画面の一例を示す図

【符号の説明】

1 0 0 電子商取引システム

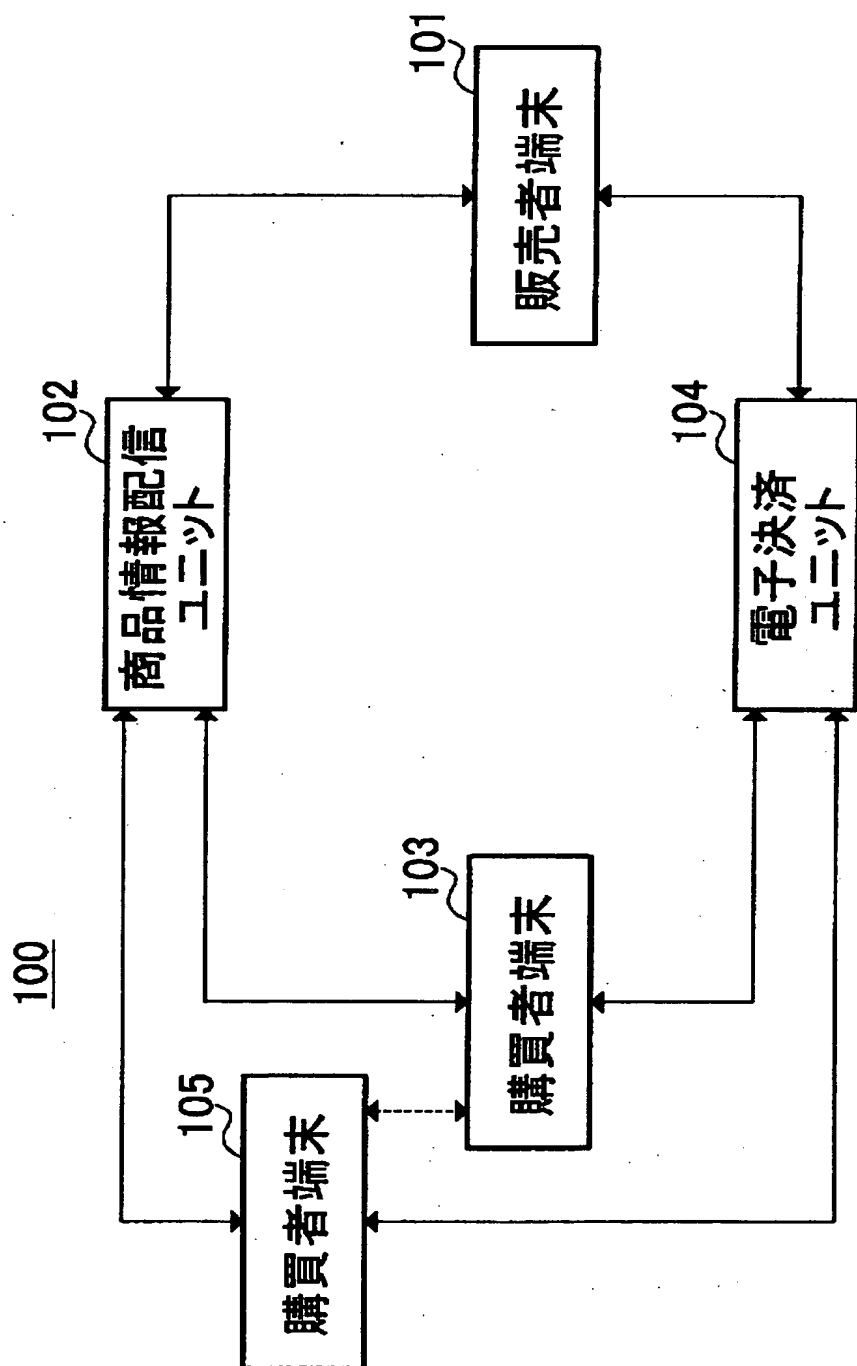
- 1 0 1 販売者端末
- 1 0 2 商品情報配信ユニット
- 1 0 3、1 0 5 購買者端末
- 1 0 4 電子決済ユニット
- 2 0 1 ネットワーク
- 3 0 1 商品データ入力部
- 3 0 2 商品メタデータ入力部
- 3 0 3 商品受注受信部
- 3 0 4 商品情報記憶部
- 3 0 5 商品情報登録部
- 3 0 6 商品情報サーバ
- 3 0 7、3 1 4 商品情報クライアント
- 3 0 8、3 1 5 情報フィルタ部
- 3 0 9、3 1 6 パーソナルプロフィール記憶部（P P F 記憶部）
- 3 1 0 パーソナルプロフィール管理部（P P F 管理部）
- 3 1 1 商品発注部
- 3 1 2 E C 決済部
- 3 1 3 金融機関又は信販会社
- 3 1 7 パーソナルプロフィール利用問合せ部（P P F 問合せ部）
- 4 0 3 ベクトル生成部
- 4 0 4 符号辞書記憶部
- 4 0 5 肯定信号計算部
- 4 0 6 否定信号計算部
- 4 0 7 肯定メトリック記憶部
- 4 0 8 否定メトリック記憶部
- 4 0 9 必要性計算部
- 4 1 0 判定パラメータ記憶部
- 4 1 1 商品情報書込み制御部
- 4 1 2 商品情報記憶部

- 4 1 4 商品情報出力制御部
- 4 1 7 教師データ記憶部
- 4 1 9 学習制御部
- 4 2 0 メトリック学習部
- 4 2 1 学習用ベクトル生成部
- 4 2 5 学習スコア計算部
- 4 2 6 判定面学習部

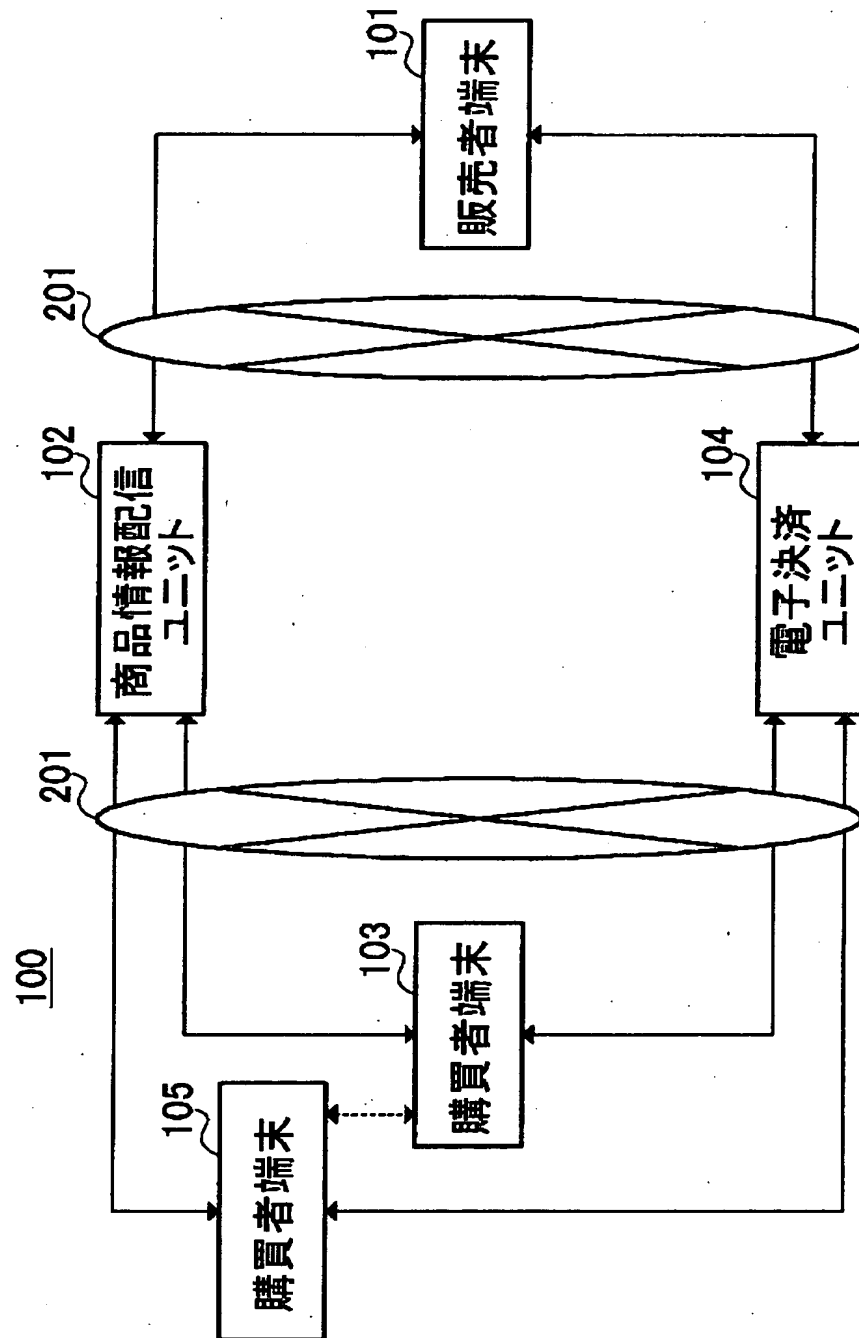
【書類名】

図面

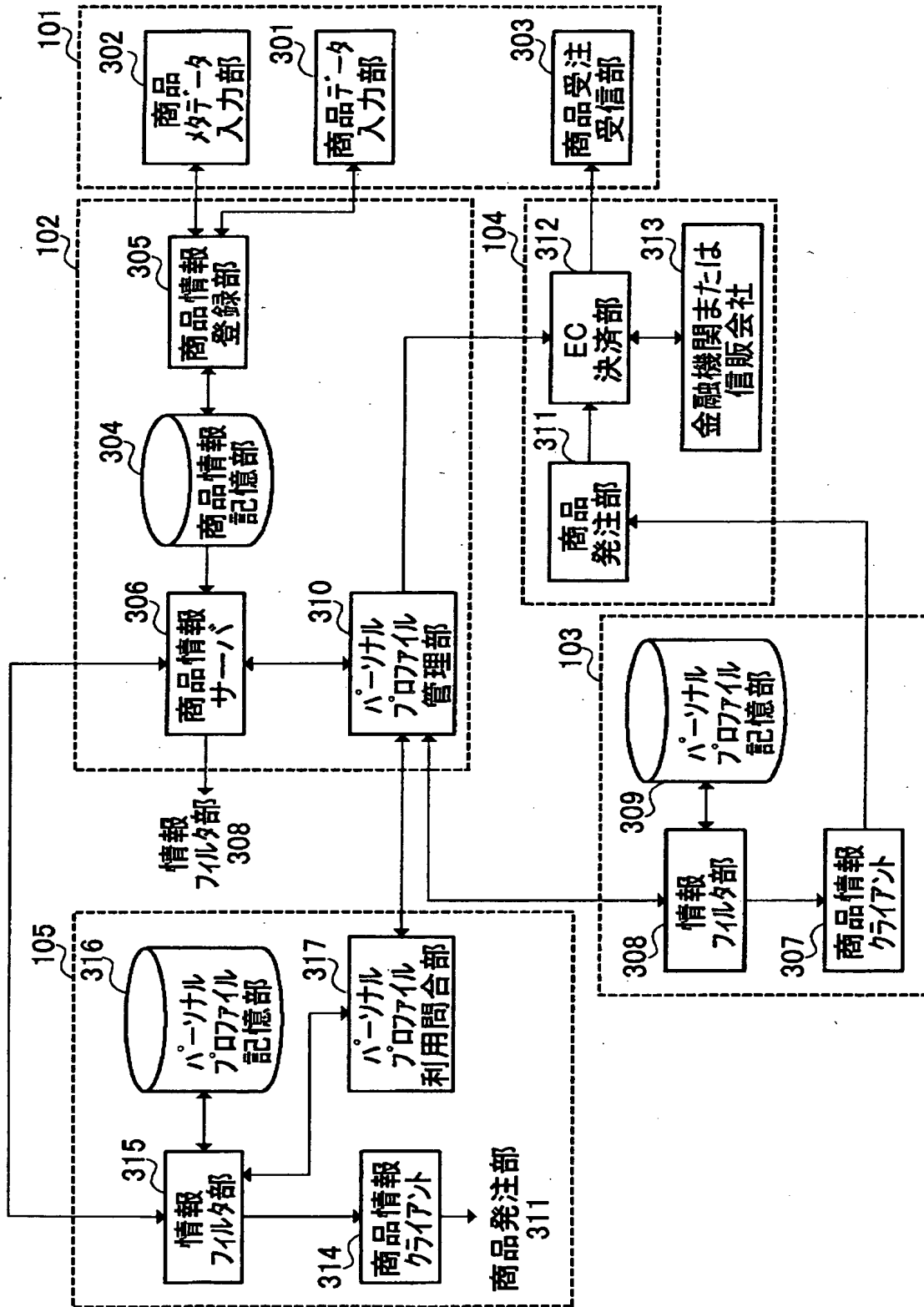
【図 1】



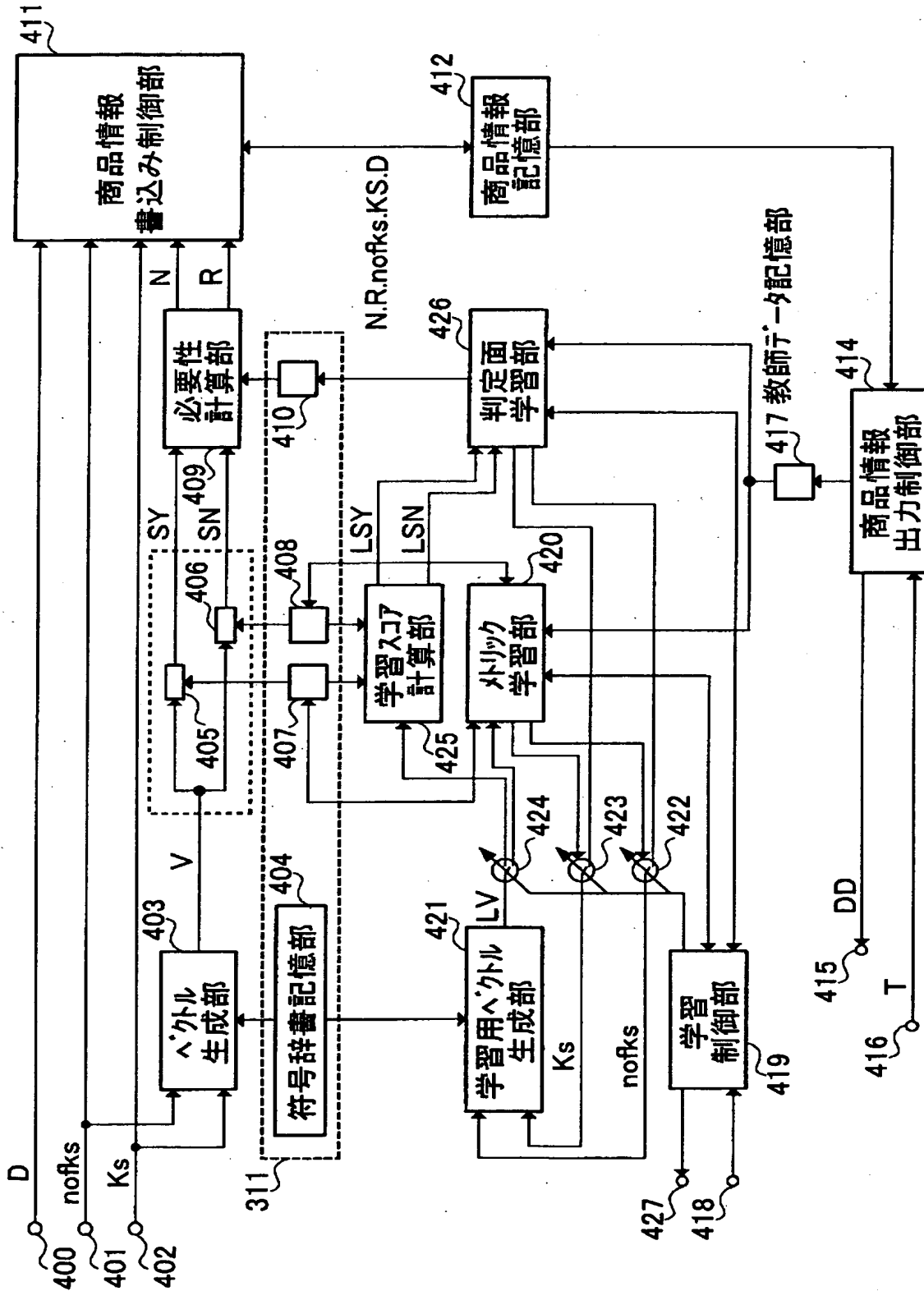
【図 2】



【図 3】



【図4】



【図5】

番号	キーワード	符号辞書記号
1	AAA(販売者ID)	00000
2	BBB(販売者ID)	00001
3	A00(商品ID)	00010
4	B00(商品ID)	00011
5	シャツ	00100
6	長袖	00101
7	半袖	00110
8	パンツ	00111
9	ジーンズ	01000
10	チノパン	01001
11	スカート	01010
12	ロング	01011
13	ミニ	01100
14	5,000円～10,000円	01101
15	10,000円～15,000円	01110

【図 6】

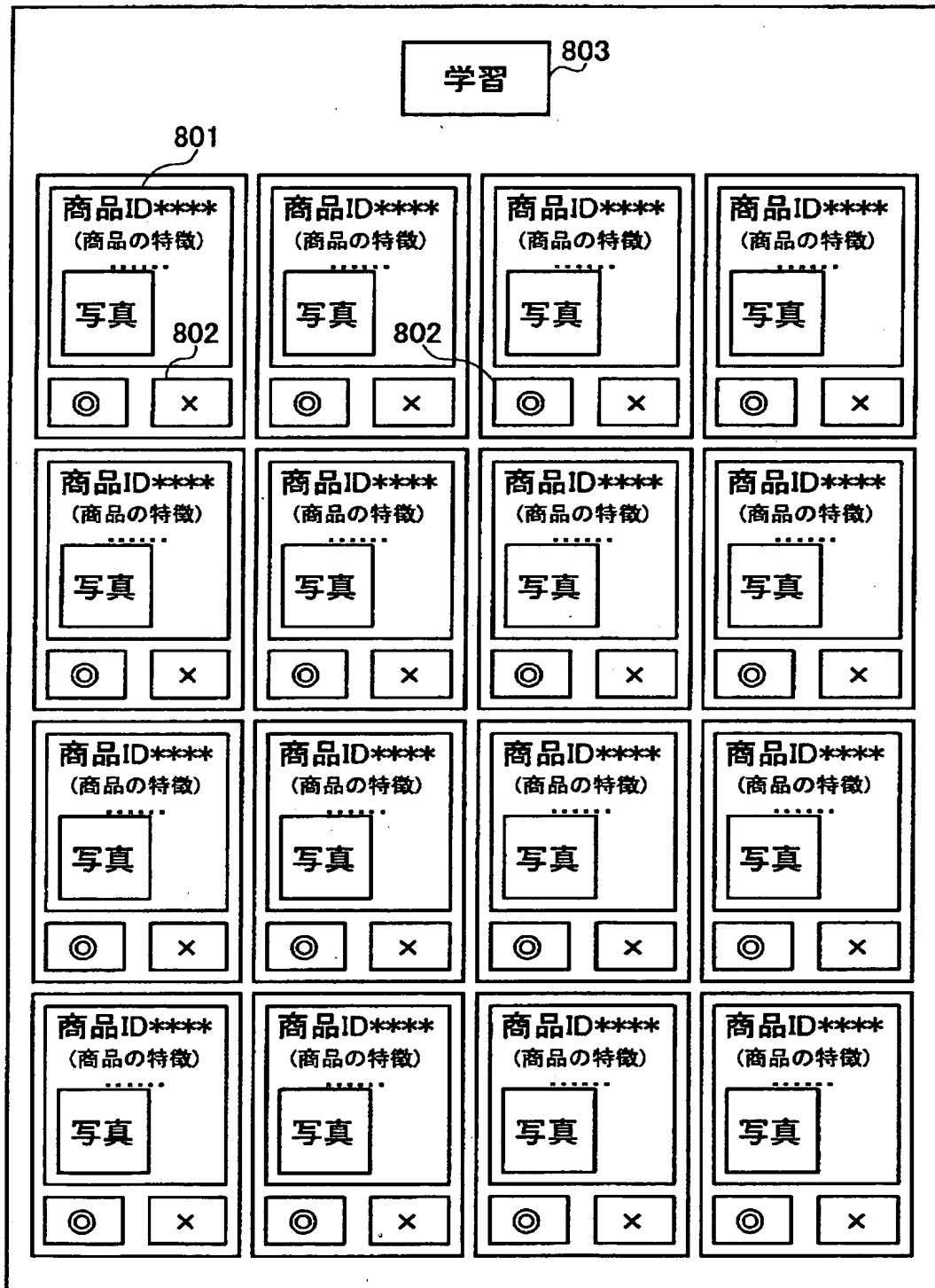
番号	キーワード	スコア (肯定)	スコア (否定)
1	AAA(販売者ID)	8	1
2	BBB(販売者ID)	1	5
3	A00(商品ID)	5	3
4	B00(商品ID)	0	3
5	シャツ	4	1
6	長袖	0	0
7	半袖	4	0
8	パンツ	1	3
9	ジーンズ	0	0
10	チノパン	0	2
11	スカート	3	0
12	ロング	0	0
13	ミニ	0	0
14	5,000円～10,000円	1	0
15	10,000円～15,000円	0	0

【図 7】

順位	商品情報	必要性信号N
1	④	16
2	①	12
3	②	11
4	③	0
5	⑤	-1

【図 8】

800



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 著名人のプライバシーを保護しつつ、著名人の現実の嗜好に応じた商品を購入することができる電子商取引システムを提供すること。

【解決手段】 購買者の検索条件に応じて商品情報サーバ 3 0 6 から配信される商品情報を、予め購買者の嗜好に応じて P P F 記憶部 3 0 9 に記憶されたパーソナルプロフィールに基いて並び換える一方、並び替えられた商品情報から商品発注が行われると E C 決済部 3 1 2 が購買者の口座から代金の引落としと販売者に対する支払いを行う電子商取引システム 1 0 0 において、他の購買者のパーソナルプロフィールを利用して商品発注を行う。

【図面】 図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名 松下電器産業株式会社



Creation date: 05-03-2004
Indexing Officer: BGONZALEZ - BLANCA GONZALEZ
Team: OIPEBackFileIndexing
Dossier: 09985736

Legal Date: 02-06-2002

No.	Dccode	Number of pages
1	IDS	3
2	FOR	42
3	FOR	37
4	FOR	28
5	FOR	16
6	FOR	10
7	NPL	38

Total number of pages: 174

Remarks:

Order of re-scan issued on